

泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト

有効性評価 7.2.1.2 雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過温破損）

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
1	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T r.6.0)	7.2.1.2-1	以下の記載を修正しました。（下線部参照） （旧）したがって、本格格納容器破損モードでは、 <u>原子炉格納容器雰囲気を冷却及び除熱し、原子炉格納容器雰囲気温度の上昇を抑制することにより、原子炉格納容器の破損を防止する。</u> （新）したがって、本格格納容器破損モードでは、 <u>代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器冷却、また、C、D格納容器再循環ユニットによる原子炉格納容器除熱によって原子炉格納容器の破損を防止する。</u>	
2	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T-9 r.6.0)	1,2	同上	
3	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T r.6.0)	7.2.1.2-1,2	以下の記載を修正しました。（下線部参照） （旧）原子炉容器破損前までに1次冷却系の減圧を行うことにより （新） <u>原子炉容器破損前までに加圧器逃がし弁の開操作によって1次冷却系の減圧を行うことにより</u>	
4	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T-9 r.6.0)	2	同上	
5	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T r.6.0)	7.2.1.2-2	以下の記載を修正しました。（下線部参照） （旧）原子炉下部キャビティへ注水し原子炉下部キャビティに落下した熔融炉心を冷却することにより （新） <u>代替格納容器スプレイポンプによって原子炉下部キャビティへ注水し原子炉下部キャビティに落下した熔融炉心を冷却することにより</u>	
6	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T-9 r.6.0)	2	同上	
7	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T r.6.0)	7.2.1.2-2	以下の記載を修正しました。（下線部参照） （旧）さらに、 <u>継続的に発生する水素を処理、低減させるとともに</u> （新）さらに、 <u>原子炉格納容器内水素処理装置によって継続的に発生する水素を処理、低減させるとともに</u>	
8	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T-9 r.6.0)	2	同上	
9	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T-9 r.6.0)	4	要員数の相違に関して相違理由を追加しました。	
10	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T r.6.0)	7.2.1.2-3	以下の記載を修正しました。（下線部参照） （旧）15名で対処可能である。 （新） <u>16名</u> で対処可能である。	
11	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T-9 r.6.0)	5	同上	
12	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T r.6.0)	7.2.1.2-6,39	以下の記載を修正しました。（下線部参照） （旧）安全注入動作を伴う （新） <u>非常用炉心冷却設備作動信号の発信を伴う</u>	

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
13	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T-9 r.6.0)	8,60	同上	
14	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T r.6.0)	7.2.1.2-7	以下の記載を修正しました。(下線部参照) (旧) 格納容器内 (新) 原子炉格納容器内	
15	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T-9 r.6.0)	9	同上	
16	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T r.6.0)	7.2.1.2-40	表中のh.項及びk.項は有効性評価上考慮するためグレーハッチングを取りました。	
17	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T-9 r.6.0)	61	同上	
18	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T r.6.0)	7.2.1.2-41	以下の記載を修正しました。(下線部参照) (旧) B-充てんポンプ(自己冷却) (新) B-充てんポンプ	
19	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T-9 r.6.0)	62	同上	
20	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T r.6.0)	7.2.1.2-46	概略系統図中の「原子炉補機冷却水サージタンク加圧用可搬型窒素ガスポンベ」の記載位置を適正化しました。	
21	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T-9 r.6.0)	67	同上	
22	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T r.6.0)	7.2.1.2-47	フロー図を以下の通り修正しました。 ・可搬型格納容器内及びアナユラス水素濃度計は、有効性評価上考慮するため、該当箇所を破線から実線としました。 ・「回復」の表現を適正化しました。	
23	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T-9 r.6.0)	68	同上	
24	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T r.6.0)	7.2.1.2-48	タイムチャートを以下の通り修正しました。 ・可搬型格納容器内及びアナユラス水素濃度計は、有効性評価上考慮するため、グレーハッチングを取りました。 ・災害対策要員の作業項目の見直し	
25	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T-9 r.6.0)	69	同上	
26	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T r.6.0)	7.2.1.2-52	フロー図を以下の通り修正しました。 ・可搬型格納容器内及びアナユラス水素濃度計は、有効性評価上考慮するため、該当箇所を破線から実線としました。 ・「回復」の表現を適正化しました。	
27	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T-9 r.6.0)	73	同上	

No	資料名称	該当ページ	適正化内容	備考
28	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T r.6.0)	添7.2.1.2.2 全般	以下のとおり記載を適正化 (旧) 圧力・温度 ⇒ (新) 圧力及び温度 (旧) 格納容器 ⇒ (新) 原子炉格納容器 (旧) 1次系 ⇒ (新) 1次冷却系	
29	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T r.6.0)	添7.2.1.2.2-10	以下のとおり追記 (旧) 最高使用圧力の2倍及び (新) 最高使用圧力の2倍 (0.566MPa[gage]) 及び	
30	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T-9 r.6.0)	添7.2.1.2.2-15	玄海3/4号炉の記載を大飯欄に追加しました。	
31	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T r.6.0)	添7.2.1.2.3-1	以下のとおり記載を適正化 (旧) 有効性評価において1次冷却材圧力が増加し、加圧器逃がし弁開放から加圧器逃がしタンクの解析上の取り扱い(図1)については、下記のとおりである。 (新) 有効性評価における加圧器逃がしタンク及び加圧器逃がしタンククラブチャディスクの解析上の取り扱いについては、下記のとおりである。	
32	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T r.6.0)	添7.2.1.2.3-1	以下のとおり記載を適正化 (旧) 平行 (新) 並行	
33	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T r.6.0)	添7.2.1.2.7-1	以下のとおり記載を適正化 (旧) 事象発生から24時間後に格納容器再循環ユニットによる可搬型大型送水ポンプ車を用いた (新) 事象発生から24時間後に可搬型大型送水ポンプ車を用いた格納容器再循環ユニットによる	
34	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T r.6.0)	添7.2.1.2.8-1	以下のとおり記載を適正化 (旧) 炉心溶融 (新) 炉心損傷	
35	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T r.6.0)	添7.2.1.2.8-1	以下のとおり記載を適正化 (旧) 原則として原子力災害対策本部における (新) 原則として対応操作は原子力災害対策本部における	
36	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T r.6.0)	添7.2.1.2.8-5	以下の記載を修正しました。(下線部参照) (旧) 金属塊中に1次冷却材が侵入し、中性子の最適減速条件が成立する場合は、臨界に至ることが考えられるが、 <u>炉心形状の崩壊などその他の要因も重なるため、臨界の可能性は低いもの</u> と考える。 (新) 残存デブリ中に冷却材が侵入し、中性子の最適減速条件が成立する場合は、臨界に至ることが考えられるが、 <u>その可能性は低いもの</u> と考える。	
37	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T-9 r.6.0)	添7.2.1.2.8-5	同上	
38	泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.2.1.2 格納容器過温破損 (SAE721T r.6.0)	添7.2.1.2.8-9	以下のとおり記載を適正化 (旧) CV上部ドーム部における飽和蒸気密度 (新) 格納容器上部ドーム部における飽和蒸気密度	